中通小学校　学校だより　令和2年度　12月号

# たくましい子

令和2年12月1日発行
中通小学校長　川尻　優

## 「まさか」を教訓に

校長　川尻　優

「人生」には三つの坂があるという例え話を耳にします。一つ目は「上り坂」で、すべてが好調で、何をやってもうまくいくときのことを例えています。二つ目は「下り坂」で、不調に陥って思いどおりにならないときのことを例えています。人生には良いときも悪いときもあります。「上り坂」だからといって慢心することなく、気を引き締めることが大切です。逆に、「下り坂」だからといって、諦めたり落ち込んだりすることなく、「上り坂」が来る日を信じて希望をもつことが大切です。そして、三つ目の坂、これは「まさか」という坂です。この「まさかの坂」は急に出現します。「上り坂」と「下り坂」を行ったり来たりする人生の中で、ある日突然「まさか」と思いもよらぬ出来事が起きてしまうことを例えています。この「まさか」のときに、どのように対応するかによって、人生を左右することもあるのです。

ご周知のとおり、令和2年11月20日、柏崎市内の小学校で新型コロナウイルス感染者が確認されました。そして、中通小学校では、「ふれあいフェスタ中止の判断を下さなくてはなくてはならない事態」となりました。数日前までは、学校だよりで「ふれあいフェスタ」の様子を紹介することを考えていました。それが、「まさか、ふれあいフェスタを中止にした記事を書くことになる」なんて、思いも寄りませんでした。

今、そんな自分を深く反省しています。春の臨時休校が開け、徐々に普通の学校生活が戻りつつある中、10月には運動会も無事に実施でき、「上り坂」を迎えていると考えていたのかもしれません。そうでなければ、「まさか」などという気持ちにはならなかったはずです。

学校は、大切なお子さんをお預かりしている責任を背負っています。その大切なお子さんを守るためには、いつ、どこで、何が起こるか分からないという意識で、常に最悪を想定し、その最悪に対する備えをしていなければなりません。「まさか」ではなく、「やはり」と捉えるくらいの準備周到さが求められます。今回の反省をもとに、これ以上の感染の拡大を防止するために、気を引き締め直して、今後の学校運営に取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様には、46名の中通小学校の児童の姿をご覧いただくことができなくなり、残念で仕方がありません。これも、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、やむを得ない判断だったことをお許し願います。各ご家庭には、後日、発表内容を録画したDVDをお配りいたしますので、ご家族でご覧いただければ幸いに存じます。今後とも、これまで以上にご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

## 感染症拡大防止のための取組

今、学校では、感染症防止のために次のことに取り組んでいます。

- これまで同様に「三密」を回避した活動を実施しています。
- 引き続き、マスクの着用、手洗いうがいを励行しています。
- 教室では、窓を数cmほど開けた状態にしておき、室内の空気の流れを作っています。寒さを防ぐために、暖房で、室温を調節しています。
- 消毒作業員様（市が予算を計上）による消毒作業を実施しています。
- 登校時、校門で全児童の検温を行っています。
- 職員は、発熱時や体調が優れない場合は、出勤しません。発熱がないことを確認したうえで出勤したときは、毎朝「体調管理シート」にその日の体調や体温を記入し、管理職に提出しています。
- 11月24日（火）～12月4日（金）の2週間は、校外学習は中止としました。また、読書支援員や読み聞かせボランティア様など、外部講師との活動も控えます。12月7日（月）以降は、市内の感染状況 を確認しながら決定します。

消毒作業

登校時の検温

子どもたちがいたずらに不安を抱くことなく、確かな情報を理解し、一人一人がお互いを思いやり、新型コロナウイルスに対して正しく恐れながら、感染防止策を講じていけるよう、努めてまいります。

# 交通事故から自分を守るために

本来、交通ルールでは横断歩道に近づいた車両は横断する歩行者がいないことが明らかな場合を除き、その手前で停止できるように速度を落として進まなければなりません。さらに、横断歩道を横断しようとする歩行者があるときは、当該横断歩道の直前で一時停止し、かつ、その横断を妨げないようにしなければならないとして、「横断歩道における歩行者優先」を定めています。

ところが、JAF（一般社団法人日本自動車連盟）が八月十二日～二十六日に全国で実施した「信号機のない横断歩道」における歩行者優先についての実態調査では一時停止する率は約二十一％程度とのことでした※1。逆に言えば、約八十％の運転手は、歩行者を優先することなく横断歩道を通過するということになります。（ちなみに新潟県の一時停止率は約四十九％で、全国では第四位に位置付けられ、比較的運転マナーが良い都道府県と言えそうです。それでも、約半数の運転手は一時停止していないことになりますが…。）

日本を訪れた外国人から、「秩序を守る国」「ルールを守る国」といったイメージを持たれることが多い日本において、信号のない横断歩道で自動車が一時停止しないことに驚きを感じているというテレビ報道を観ました。横断歩道が白と黒の縞模様であることをシマウマ（ゼブラ）に例え、日本の横断歩道を「キラー・ゼブラ」（人の命を奪う横断歩道）と揶揄しているそうです。

私たち大人は、自動車を運転するのであれば、冒頭で述べた交通ルールを順守しなくてはなりません。一方で、子どもたちは自動車を運転するわけではありません。横断歩道を渡るときに気を付けなくてはならないことを自分自身で実践することが「自分の命は自分で守る」ことにつながります。具体的には、

◆横断歩道では、左右確認を複数回行い、自動車が来ていないか、自分の目でしっかりと確かめる。
◆登校班では、班長について行くだけでなく自分の目でも確かめる。
◆片側の自動車が停止してくれても、もう片側の自動車が停止するとは限らないので、右側と左側の両方の安全を確かめる。
◆横断するときは手を挙げて、自動車に自分の存在を知らせる。

などです。

秋～冬は、暗くなるのも早いうえ、雪道になると危険度が増します。子どもたちが「自分の命は自分で守る」ことができるよう、学校・家庭・地域が連携して、見守り、指導していけるよう、今後とも引き続きご協力願います。

※1「JAFの」ニュースリリースより

これは、十一月五日の全校朝会で話した内容です。今回の学校だよりの巻頭言で紹介しようと思い、まとめておきました。ところが、ふれあいフェスタの中止に伴い、ふれあいフェスタの中止に関することを巻頭言で述べたため、右の内容は裏面にて紹介させていただきました。駄文を二つも掲載し、失礼いたしました。

## 茶道にチャレンジ！

11/11、チャレンジクラブの８名が、地域の吉田貴子様・増田智子様より、茶道を教わりました。一人一人が実際にお茶をたて、至極のひとときを過ごすことができました。

## ありがとうございます！

## 読書の秋、読み聞かせ！

11/18、地域の黒金貞子様が１～３年生に、吉田貴子様が４～６年生に読み聞かせをしてくださいました。紙芝居や絵本を楽しく読み聞かせいただき、「読書の秋」が深まりました。

## １２月の予定

2日（水）　クラブ最終日
　　3年生個別懇談
3日（木）　全校朝会
　　個別懇談
4日（金）　個別懇談
　　人権教育強調週間（～10日）
9日（水）　委員会
10日（木）　移動図書館
　　図書貸出最終日
11日（金）　地区子ども会
14日（月）　冬休み前清掃強調日①
16日（水）　冬休み前清掃強調日②
17日（木）　児童朝会
　　図書返却最終日
18日（金）　冬休み用図書貸出
　　（22日まで）
　　冬休み前清掃強調日③
23日（水）　後期前半終了集会
24日（木）　冬期休業（～1月7日（木））

※今後の新型コロナウイルス感染予防対策により、予定が変更になることもございます。ご承知おき願います。